

その取組、 アピールしませんか？

北国の省エネ・新エネ大賞

北海道経済産業局では、令和3年度「北国の省エネ・新エネ大賞」として表彰する、北海道内での省エネ活動、新エネの活用などの取組を募集します。受賞者及び受賞事例は、他の模範として、当局ホームページ等で広く紹介します。

対 象

北海道内で以下の取組を行った組織・個人。※自薦・他薦を問いません。（共同応募も可）

- ▶省エネ活動、新エネの活用
- ▶省エネ・新エネに関する製造・開発
- ▶省エネ・新エネの普及・啓発活動

表 彰 の 種 類

- ▽北国の省エネ・新エネ大賞 大賞（1件）
- ▽北国の省エネ・新エネ大賞 優秀賞（複数件）

評 価 項 目

- ◆取組の効果・その根拠（データ等）
- ◆先進性・独創性
- ◆汎用性・波及性
- ◆継続性・持続性
- ◆地域貢献度

募 集 期 間

2021年9月15日（水）～ 10月15日（金）17:00必着

※省エネルギーとは、省エネ法（エネルギーの使用の合理化等に関する法律）第2条第1項に規定するエネルギー（燃料、熱及び電気）を効率的に使用することをいいます。
※新エネルギーとは、新エネルギーの利用等の促進に関する特別措置法施行令第1条に規定する太陽光発電・熱利用、風力発電、バイオマス発電・熱利用・燃料製造、地熱発電、中小水力発電、雪氷熱利用及び温度差熱利用並びに天然ガスコージェネレーション、燃料電池及びクリーンエネルギー自動車その他の革新的なエネルギー高度利用技術により得られるエネルギーをいいます。

応募方法・問い合わせ先

詳細は、当局のウェブサイトをご覧ください

<https://www.hkd.meti.go.jp/hokne/20210915/index.htm>



経済産業省北海道経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 表彰担当
TEL:011-709-2311（内線2635、2636） FAX:011-726-7474
E-mail:hokkaido-energy@meti.go.jp

令和2年度受賞者紹介

【大賞】北海道電力株式会社（札幌市）

テーマ	北海道における寒冷地型ZEBの普及促進
取組概要	2018年2月に全国の電力会社で初めてZEBプランナーに登録。 北海道の総合エネルギー企業として寒冷地における最適なエネルギーシステムを提案してきたノウハウを活用して、計画・設計段階でのZEBの提案に加え、竣工後の分析・運用改善まで対応。 オリジナルパンフレットの作成、セミナーでの講演等、ZEB普及のためのPR・広報活動を実施。 （一社）環境共創イニシアチブ（SII）に登録されている北海道内のZEB物件10件の内3件に関与した実績を持っており、2020年度登録予定の3件にも関与。（2020年11月時点）

ZEBコンサルティング



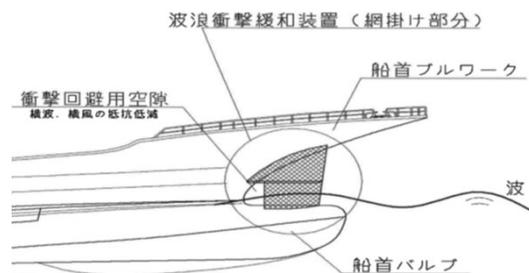
オリジナルパンフレット

【特別優秀賞】運上船舶工業有限会社（厚岸町）

テーマ	漁船の抵抗軽減装置（波浪衝撃緩和装置）の開発と省エネ効果による地域貢献
取組概要	温暖化の影響により、回遊魚の漁場が年々沖合へと移動し、小型船でも波の荒い外洋へ出る機会が増えたことにより、航行時間が増加している。 その影響から、燃料消費増大、燃油の高騰、更に漁獲量の減少も重なり漁業関係者の経営を圧迫。更なる省エネ対策と同時に、波浪の影響を緩和し、波の荒い外洋でも小型船が航行しやすい工夫が求められてきた。 同社では、船舶の容積を変更させずに、推進効率（抵抗軽減）及び耐航性能（りょう波、乗り心地）の改善が可能な「波浪衝撃緩和装置」の開発に取り組んだ。



船首部に取り付けた波浪衝撃緩和装置



【優秀賞】シオン電機株式会社（札幌市）

テーマ	パワーセーブ・エコミノールによるエネルギーの地産地消
取組概要	再生可能エネルギーの普及に伴う送電系統容量不足の問題や再生可能エネルギー賦課金による国民負担の増加が懸念されている中、同社は、エネルギーの地産地消を実現すべく、売電によらない全量自家消費システム（パワーセーブ・エコミノール）を開発した。 通常、大規模容量の太陽光発電設備の発電電力を、売電せずに需要家施設で使用する場合、発電量が需要量を上回ると逆電力継電器（売電を防止する機器）が作動し、太陽光発電が停止するため、発電電力の利用に支障が出る。 本システムは、発電量が需要量を超えそうになったとき、需要量を超えないよう発電量をセーブすることで、太陽光発電を停止させず、発電電力を最大限利用できるよう動作する。

過去の受賞実績等はこちらをご参照ください（当局HP）

<https://www.hkd.meti.go.jp/information/energy/award.htm>